

2018年6月7日

各位

宇部エクシモ株式会社

品質検査に関する不適切行為について

本日付で、弊社親会社である宇部興産株式会社からリリースを行いましたとおり、弊社が過去に販売した製品の一部につき、お客様との契約に基づく製品検査項目の一部を実施していなかったことが判明いたしました。弊社調査チームによる調査の結果もふまえ、下記のとおりお知らせいたします。

本件につきましては、お客様をはじめ関係各位に多大なご迷惑と心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。今後このような事態が再び発生することがないように、品質管理体制の強化及び内部監査の徹底等を図ってまいります。

記

1. 判明した事案の概要

(1) 事案1 「ラセンコンポーズ」

①対象製品

光通信ケーブル用スロット（商品名「ラセンコンポーズ」）のうち、中芯としてFRP（繊維強化プラスチック）製のテンションメンバーを使用していた製品

②不適切行為の概要

当社が製造し販売するラセンコンポーズにおいて、お客様への納入仕様書に規定された製品検査項目の一部（中芯テンションメンバーの引張強度、引張弾性率の2項目）について、実際には試験・分析をしていないにもかかわらず、過去の実績に基づく代表値を検査成績表に記載している事実を確認しました。

③不適切行為の発生時期、背景

社内調査の結果、関係者がすでに退職しているなどの理由により、本件不適切行為に至った正確な時期や経緯は判明しておりません。1991年、ラセンコンポーズの製造において、それまで別々に製造していた中芯用FRP製テンションメンバーの製造工程と、中芯の外側にラセン溝付きの樹脂層を被覆する工程とを連続して行うよう生産工程を大幅に変更しております。その後、本件不適切行為が始まったとみられることから、この生産工程の変更が本件不適切行為のきっかけとなったものと考えております。

④出荷先数

対象となる製品が出荷されたお客様は7社です。

(2) 事案2 「UCファイバー」

①対象製品

複合繊維（商品名：「UCファイバー」）

②不適切行為の概要

複合繊維（商品名：「UCファイバー」）のお客様への納入仕様書に規定された製品検査項目の一部（耐久親水性）について、実際には試験・分析をしていないにもかかわらず、

任意の数値を検査成績表に記載している事実を確認しました。

③不適切行為の発生時期、背景

社内調査の結果、関係者がすでに退職しているなどの理由により、本件不適切行為に至った正確な時期や経緯は判明しておりませんが、UCファイバーの当初の開発担当者が耐久親水性の測定を行わずに任意の数値を検査成績書に記入する不適切行為を行ってまいりました。この不適切行為は、当該開発担当者の退職後も後任者に引き継がれ、また、耐久親水性の測定の具体的測定方法が引き継がれていなかったことから、その後も是正できず、恒常化してしまったものと考えております。

④出荷先数

対象となる製品が出荷されたお客様は2社です。

2. 現在までの対応状況

ラセンコンポーズについては、不適切行為の判明後、直ちに出荷を停止し、お客様との契約に基づく試験・分析を実施した上で出荷を再開しています。また、UCファイバーについては、不適切行為の判明後、お客様との契約に基づく試験・分析を実施した上で出荷をしています。いずれの製品も対象となるお客様に対しては、順次説明を行っております。なお、当社といたしましては、法令違反はなく、また該当製品の品質検証作業を実施し、品質に問題はないものと考えております。

3. 再発防止策

今後、弊社といたしましては、宇部興産グループ全体の品質管理体制強化の取組みに沿って、以下の諸施策を実施し、コンプライアンスの徹底を図り、再発防止と信頼回復に努めます。

- ①コンプライアンス意識の浸透と企業風土の改善
- ②品質マネジメントシステムの点検、再構築
- ③品質検査表発行に係るシステム、手続きの点検、改修
- ④品質不正防止のための監査、牽制機能の強化
- ⑤品質保証部門の機能、陣容の強化、職場風土の改善
- ⑥品質保証担当者の体系的教育、人材育成

また、今回の不適切行為の責任を重く受け止め、代表取締役社長および管掌役員について報酬の減額処分をすることといたしました。

関係各位におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

<本件に対するお問い合わせ窓口>

宇部エクシモ株式会社 総務部

TEL : 03-6667-2411

以 上